

学生生活を振り返って  
～一回生に伝えたいこと～

**I, 自分の経験から伝えたいこと**

- ・やりたいことは1,2回生のうちに  
→3,4回生は暇じゃない!?
- ・内にこもるよりも外に  
→ひきこもり生活も悪くはないけど…
- ・広い人間関係を築く  
→社会福祉学科は仲良しだけど…
- ・自分の時間を犠牲にできることを見つける  
→授業をさぼれと言うわけではない!

**II, 悩んだこと**

- ・社会福祉学科としての立ち位置  
→世の中いろいろな考えの人がいます
- ・自分が本当にしたいこと  
→自分自身の今後の方向性

**III, 最後に**

- ・人生は何事も一期一会である
- ・今という時間はこの瞬間にしか存在しない
- ・常に全力で生きる

小西 男

皆さん、おはようございます。実は今、緊張して何しゃべったらいいのだろうと思っていますが。今日は授業の一環でやるので過激なことは謹んでいこうかなと思っています。自分の経験から伝えたいこと。自分が3年ちよっと経験してきて、何を伝えたいか。やりたいことは1、2回生のうちに。3、4回生は意外と暇じゃない。先輩たちが3、4回生は暇やと聞いている方もあるかと思いますが、3回生は実習があるし、4回生も卒業論文、就活もありますし、意外と暇じゃない。それだったら1、2回生のうちのやりたいことをやっておくということです。僕、1、2回生の時に経験できなかった、やることをやれなかったので、3、4回生で苦勞しながらギリギリ一杯の中でやっていますので。

内にこもるより外に。ひきこもり生活も悪くいけど。僕、1、2回生の時、めっちゃ、ひきこもりで、学校に週1、2回しか行かなくて、基本は家でゲームしていて、ゲームして寝てみたい生活を送っていたので、確かにひきこもり生活、悪くないと思いますが、楽しいし、自分一人の世界に入ることもいいとはいってませんが、悪くないと思いますが、でも内にこもらず、皆とふれあって、外に出て、旅行したり、外での経験の方が多いので、外に出ていった方がいいなと思います。

広い人間関係を築く。社会福祉学科は小クラスがあって、学生が仲がいいんですよ、マジで。びっくりするくらい。社会福祉学科、すごく仲はいいけど、福祉学科という狭い人間関係だけではなく広く人間関係を広げていって、友だちの友だちは友だちというような、僕も気がついたら理工学部の友だちから広がって行って、なぜか関西大学の理系の人とか、よくわからへん知り合いができてきているという、広い人間関係を築いていくのが大事かなと思います。これこそ大学生活の醍醐味かなと、ユニバーシティの意味かなと思います。

次が自分の時間を犠牲にできることを見つける。授業をさぼるということではない。授業をさぼってもやりたいことを見つける。自分が自分の時間を犠牲にしても、何かに打ち込む。僕の場合はサークルなのかなと。僕より2回上の先輩と一緒にサークルを立ち上げて、先輩たちがアウトラインをつくってくれたんですが、その後、僕が引き継いでサークルの会長をやって、ずっとサークル運営してきて1年半くらい。自分の時間を犠牲にする、たまには授業に出ると、会議も出たりしないといけないので。自分の時間を犠牲にしても、とにかくやり甲斐のあることを見つけるっていくことは大事かなと思っています。

悩んだこと、社会福祉学科としての立ち位置。世の中いろいろな考えの人がいます。確かに世の中、いろんな考えの人がいます。僕、福祉学科の中で異端の考えを持っている人なんです。はっきり言って。障害者自立支援法なんて有名な話がありますが、障害者にとって負担が多いと。僕、全然、負担はありやと思っていて、そんなん、福祉学科で言うから「なんやねん、それ」と言われるような話なんですけど。昔、1、2回生の時に言われたのが、同じような話で、福祉をやっている人からすると違和感がある発言をしたので「社会福祉学科としてどうなの？」と発言をされ、めっちゃ、悩んで「社会福祉学科だから、そういう固執するのはどうなのかな」と思って、いろいろ悩みながら本を読んだりして、僕以外にもそういう考えの人いるんですよ。社会福祉を学んでいる人の中にも。社会福祉学科だからこういうふうに考えないといけないという固執した考えは絶対やめた方がいいし、僕が悩んだから悩む人もいると思うけども、あまり考えなくて、自分は自分やと一つの視点、自分の中に価値観があれば十分やと思います。

次は自分がほんとにしたいこと。自分自身の今後の方向性。進路でめっちゃ、悩んで、悩んで、自分が本当にしたいことは何やったのかな。何のために福祉学科に来たのか、最初、企業就活を

考えていて、一般企業を。でもなんか一般企業の就活をしているうちに、自分が本当にしたかったことは何やろと、「企業の普通に行って、いいんかな?」と。自分でなんで社会福祉学科に入ったのかと考へまして、考へていったら、もともとは法学部を目指して、法学部を目指していたのは弱者を救いたい、弁護士とか裁判官になって社会的に苦しい人たちを助けたいという思いから法学部を目指していたけど、途中で福祉の方が、そういう人たちを救えるのではないかと。広くあまねくすべての人を救えるのではないかと考へて、福祉学科に来たので、そう考へると、自分がやりたかったのは本当は社会福祉なんやと思へて、企業就活を捨てて、今、福祉関係の就活をひたすらしています。そういうふうに分がほんとにしたいことを、よくよく考へて今後の学生生活全体を送ってほしいなと。僕は就活の時期になって初めて気づきましたけど、そういうのを1、2回生のうちから知っておいた方が、めっちゃ、楽やし、いきなりこんなことをしたら、後がないから、めっちゃ、怖いという、今、不安で不安で仕方ないです。

最後に人生は何事も一期一会である。人生、何が起きるか分からないというか、でもそれは一度きりしかなく、一期一会だと思へて生活していくと、めっちゃ、楽しい。何か充実感があるかなと思へます。今という時間はこの瞬間にしか存在しない。僕、よく写真が、なんで嫌いか。写真は今という瞬間が終わるところだけを撮っているんですよ。わかりますか? ちょっと難しい話ですけど。今という瞬間は、今、この瞬間にしか存在しなくて、その瞬間を写真におさめることは、今という瞬間が死ぬ瞬間を写真に撮った状態で、ずっとおいてあるという、だから嫌いなんや、死を写しているから嫌いなんやと、よく言うんですけど、だから今という時間は瞬間、瞬間にしか存在しないから、今すごく大事なことで、今後の未来も一瞬一瞬にしか存在しないから、今を大事に生きてください。

常に全力で生きる。最後、ディープな話になりますけど、僕の知り合いが自殺をしまし、なんで自殺したんやろうと考へまして、先輩もいろいろ悩みがあつて、何の悩みか僕もわかんないですけど、自殺して結局、人間で、どこで死ぬかわからないな。いきなり死ぬこともあるし、そういうふうになんやと自殺することもある。そういうふうになんやと死に向かっている人生だし、そう考へたら常日頃から全力で生きて、一生懸命、何でも、サークルでも部活なり、学業なり、ボランティアとかバイトとか何でも全力で一生懸命取り組む、それが一番大事なのかなと。自分の人生、はっきり言へて全力で生きてないので、わかんないんですけど、全力で生きての方が楽しいなと思へます。以上です。

